

国際社会・地域社会とともに



社会貢献活動による 地域社会との共生

富士通グループは、良き社会人として地域や社会と調和することが重要であると考えています。

この考えのもと、将来を担う青少年の育成や文化・芸術の発展の促進、企業スポーツの振興、国際交流の支援、地域でのコミュニケーション、環境保全など、さまざまな社会貢献活動を通じて、世界各地で地域に根ざした企業として、地域社会との共生を図っています。

2009年度の社会貢献活動の実績一覧

学術・教育の振興／国際交流

- JAIMS (日米経営科学研究所)
- 数学オリンピック財団／NPO法人情報オリンピック日本委員会への活動支援
- 富士通奨学金制度
- 富士通キッズサイト

文化・芸術活動

- 富士通コンサートシリーズへの協賛
- 富士通コンコード・ジャズ・フェスティバルへの協賛
- 第17回富士通杯「達人戦」の開催(将棋界唯一のシニア戦)
- 第22回世界囲碁選手権・富士通杯の開催
- 富士通レディースゴルフトーナメントへの協賛
- 川崎フロンターレの活動を支援 など

企業スポーツ

- 陸上競技
- アメリカンフットボール
- 女子バスケットボール

地域活動

- 川崎工場 春まつり
- 沼津工場 茶摘みフェスティバル
- 富士通ソリューションスクエアくすのき祭 など

災害支援

- ハイチ地震の被災地支援(2010年1月)



富士通キッズイベント2009

情報オリンピック日本委員会と共同で開催し、多数の応募のなかから抽選で選ばれた約100名の子もたちが、ゲームやセルフチェックアウトシステムの操作を通して、コンピュータの仕組みや技術を学びました。



川崎工場 春まつり

「環境・技術・スポーツの川崎工場へようこそ」をキャッチフレーズに、遊びながら学べる多くのイベントを開催しました。約15,500名もの方にお越しいただき、川崎工場のさまざまな取り組みを紹介しました。



沼津工場 茶摘みフェスティバル

工場内にある茶畑での茶摘み体験のほか、工場内の自然資産を活用した環境教育、子ども向けアトラクション、日本のコンピュータの歴史を拓いた故池田敏雄の業績を見学するなど、楽しく過ごしました。



川崎フロンターレ・サッカー教室

富士通那須工場グラウンドにおいて、川崎フロンターレ・サッカー教室を開催しました。教室終了後には「いも煮会」を開催し、地域の皆様との交流を深めました。



富士通レッドウェーブふれあい教室

富士通女子バスケットボール部「RedWave(レッドウェーブ)」の選手・スタッフが、地元(川崎市)の小学生を対象に体育やクラブ活動を利用し実技指導を行っています。選手とのふれあいや、スポーツの楽しさを通じて、スポーツ振興を図っています。



富士通フロンティアーズ

富士通アメリカンフットボール部「FRONTIERS(フロンティアーズ)」は川崎市ホームタウンスポーツ推進パートナーに認定され、フラッグフットボールの普及を通じた地域貢献活動に取り組んでいます。

2009年度の活動ハイライト

JAIMS(日米経営科学研究所)の運営

JAIMS (Japan-America Institute of Management Science) は、1972年に富士通が全面的にバックアップして設立された大学院レベルの教育を行う非営利の教育研究法人です。「日米間のビジネスウェイトが増大する将来に備えて、日米の架け橋になる国際ビジネスマンを養成したい」という当時の社長、高羅芳光の構想をもとに設立されました。現在は、「ビジネスリーダーの育成を通じて、アジア太平洋地域の人材開発と知の共創による新たなコミュニティ開発に貢献する」ことをミッションとして活動しています。

富士通ではJAIMS設立以来、運営資金の拠出に加え、その活動を支援する組織を社内に設置し、日本国内での宣伝広告および留学相談窓口業務、セミナー企画、外国人研修生の受け入れなどのサポートを続け、学術・教育の振興、国際交流を通じた社会貢献を推進しています。



JAIMSの学生たち

「数学オリンピック」「情報オリンピック」の支援

富士通は、(財)数学オリンピック財団および特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会の活動を支援し、将来の社会の発展を担う貴重な人材の発掘・育成に寄与しています。

具体的には、1991年の数学オリンピック財団の設立にあたって、他2社・1個人とともに基本財産を出捐し、また、国際数学オリンピック(IMO)への日本代表選手の選抜大会である日本数学オリンピック(JMO)や日本ジュニア数学オリンピック(JJMO)の成績優秀者への副賞提供などを行っています。

また、情報オリンピックについては賛助会員としてその運営を支援するとともに、国際情報オリンピック(IOI)への日本代表選手の選抜大会である日本情報オリンピック(JOI)の成績優秀者に副賞を提供しています。



第9回 日本情報オリンピック表彰式

国連世界食糧計画(WFP)への協力

富士通は、創立記念日に全社員へ配布する弁当費用の一部を、国連世界食糧計画(WFP)へ寄付しています。社員一人ひとりの社会貢献意識の向上を促し、世界の飢餓・貧困の撲滅に向けた行動につながることをめざしています。

飲料販売を通じた植林再生活動の支援

富士通グループでは、2009年7月から富士通のプライベートブランド飲料を社員向けに販売し、売上の一部を「富士通グループ・マレーシア・エコ・フォレストパーク」における熱帯雨林再生活動に充てています。2009年度は約26万本を売り上げました。

社会貢献活動の支援制度

社員のボランティア活動を支援するために、以下の制度を設けています。

- 青年海外協力隊・シニア海外ボランティア参加のための休職制度：最高3年間
- 積立休暇：年5日支給とし、最高20日まで積立可能(ボランティアを含む特定の目的に利用)

国内グループ会社事例

社会への提言、地域社会とのコミュニケーション

■富士通総研(FRI)

(株)富士通総研は本業を通じて社会との調和、責任を果たすため、2010年2月17日経団連会館において、「地球環境時代の日本の挑戦～低炭素・生物多様性社会における成長戦略～」と題して、コンファレンスを実施しました。コンファレンスでは、社会経済活動に多大な影響を及ぼす気候変動と生物多様性の双方の観点から、我が国が、新たな成長戦略を描くために不可欠な産業政策および企業活動のあり方について、研究員からの提案と国内外有識者を交えた議論を行いました。

また、各地域が求めるボランティア情報を紹介するポータルサイト「ボランティアホリデー」の運営事務局として、地域と都市住民をつなぐ役割を果たしています。

ヘルスキーパー活動

■富士通アドバンスソリューションズ(FASOL)

(株)富士通アドバンスソリューションズでは、盲学校の卒業生を企業内理療士(ヘルスキーパー)として雇用しマッサージで社員の疲労回復、健康管理を行うヘルスキーパー活動に2004年から取り組んでいます。

社員は単に日常のSE作業に疲れた体が癒されるだけでなく、ヘルスキーパーとのコミュニケーションで気持ちもほぐされ心も体もリフレッシュできることから人気サービスになっています。障がい者雇用率向上という意義もあり、研究開発業務の多い他のグループ会社への広がりも出ています。

視覚障がい者に雇用機会を与える貴重な取り組みとして盲学校も大歓迎。新しい社会貢献活動です。



ヘルスキーパーのお二人とプロジェクトリーダー

海外グループ会社事例

社会的弱者への支援と交流

■ オーストラリア:Fujitsu Australia Ltd. (FAL)

2009年5月には、アードック青少年財団（ホームレス、家庭内暴力、薬物乱用などで危険にさらされている子どもや家族を支援する財団）の呼びかけに応じ、ボランティアとして参加した社員15名が、メルボルン市のマホガニー・ライズ小学校の子どもたちのメルボルン動物園への遠足を引率しました。

また、2009年10月、Fujitsu Australia Ltd.(FAL)のパース地区社員15名は、チャリティー団体「United Way West Australia」とともに西オーストラリア州パース市の聖バーンロコミュニハウスを訪問し、75食分のバーベキューディナーを用意するなど、交流を深めました。聖バーンロコミュニハウスは、ホームレスや経済的に困窮している人々などに休息の場や宿泊設備を提供するとともに、指導やカウンセリングを行う施設です。



バーベキューディナーを用意するFAL社員

海浜公園の清掃

■ 香港:Fujitsu Hong Kong Ltd. (FHK)

2009年10月、Fujitsu Hong Kong Ltd. (FHK) は、香港政府の農業水産管理局が主催するダギラー海洋保護区の清掃活動に参加しました。社員とその家族10名は、楽しみながら海岸を清掃し、環境保護への意識を高めました。



ダギラー海洋保護区での海浜清掃

小学生や学生向けの支援活動

■ 英国:Fujitsu Services Ltd. (FS)

Fujitsu Services Ltd. (FS) は、主要事業拠点ごとに地域単位で「Impact on Society (IOS)」というグループを設け、各グループが自主的に社会貢献活動やボランティア活動に取り組んでいます。

英国では、FS社員がミッドランドとマンチェスターの小学校に訪問し、6～8歳の子どもたち約80名と言葉ゲームなどを通じて読み書き能力向上を支援する「Give and Gain Days」活動を行いました。

また、南アフリカでは、2009年度に、ベルマースにある生徒数500名のUitschot小学校に「PlayPump Water System」を設置しました。PlayPumpは、子どもが遊びながら水を汲み上げられるポンプでありこれによって小学校にきれいな水を供給することが可能になりました。

なお、このプロジェクトは、英国・ドイツ・南アフリカの富士通グループ会社が共同で実施したものです。



PlayPumpで遊ぶ子どもたち

教育支援への協力

■ タイ:Fujitsu Systems Business (Thailand) Ltd. (FSBT)

タイには、学習教材が整っていない地域が数多く存在しています。Fujitsu Systems Business (Thailand) Ltd. (FSBT) は、こうした地域の教育活動を支援しており、タイ中部のペチャブリー県にあるBaan Tha Marid学校の新図書館やタイ中部のスパンブリー県のDongpikul学校に、PCや書籍、教材、備品を寄贈しました。



Baan Tha Marid学校へPC、書籍・教材等を寄贈

カナダ・ケベック市での市民啓発活動

■ カナダ:Fujitsu Canada (DMR)

Fujitsu Canada (DMR) のコンサルタントであるジャン・プロバンシェ (Jean Provencher) は、「持続可能な開発」という価値観を地域社会に浸透させるため、2007年5月、NPO「カルフルール・テラテール (Carrefour TerraTerre)」を設立しました。

このNPOでは、人々のライフスタイルを持続可能で社会的責任のあるものに変革していくことをめざし、講演会、ワークショップ、映画上映などを無料で開催しています。

※ 環境社会貢献活動についてはP75を参照ください。